



すすんで学ぶ子  
心豊かな子  
たくましい子

# 中宮

令和5年7月3日  
第651号  
枚方市立中宮小学校  
校長 池原 義人

## チーム中宮（保護者・地域・学校）で子どもを守りましょう4

### 風水害避難訓練

6月22日、風水害に対応した避難訓練を実施しました。本年度は6月2日の荒天により、避難訓練を待たずして緊急集団下校・児童引き渡しを余儀なくされました。児童を無事に避難させることができましたが、改善が必要な課題が見られました。

学校待機および下校児童の確認方法、たくさんの変更連絡により大混乱を招いた反省から、新たにスプレッドシートを活用する形に改め、急な変更による入力ミスや見落としを防ぐとともに、引き渡し時の確認作業もスムーズに行えるようにしました。

ただし、対策をしても急な変更は少なからず混乱が生じます。できる限り届け出ている方法に変更のないようお願いします。また引き渡しについては、本校PTA配布保護者証（名札）の確認を徹底しなければ、児童の安全を確保できません。子ども達も真剣に取り組んだ避難訓練、大人も無駄にしてはならないと考えています。またいつ来るかわからない緊急事態に備え、保護者の皆さまのご準備もよろしくをお願いします。

○緊急時を考えた保護者証（名札）の保管方法

（持っているだけでは確認できませんので、来校の際は必ず着用してください）

○届け出ている方法に対する対応（学校待機からの引き取り、緊急下校への対応）

### 電話連絡について

前回の校長通信でもお伝えしたように、電話の対応が緊急対応の足かせとなりました。6月2日当日は、体調不良により職員が二人少なかったこともあり、大半の時間、職員室には校長、教頭、事務職員の3人だったので下校時刻の決定作業（情報収集、近隣校との連絡調整）も、その他の準備（教職員への周知・指示、下校児童待機児童の確認作業、保護者へのミルメール配信）もなかなか進められない状況が続きました。今後、同様の事態になった場合には、このあたりの事情をお汲み取りいただき、対応をご検討ください。

また、下校か学校待機かの確認のため緊急連絡先に連絡したのですが、受信してもらえないケースがありました。学校から電話連絡をさせていただくときには、一回線で全学年の対応はできませんので、下記にある複数の電話番号を使用しています。下記番号より着信があった場合には、受信していただきますようお願いします。

《現在、中宮小学校が連絡のために使用している電話番号》

・050-7102-9088 ・070-2299-4197 ・080-7034-4431 ・070-2299-4198 ・070-2299-4289

※枚方市経費削減のため、本年度途中より各校に与えられる電話機が変更されました。また、システム変更により、どの番号にかけていただいても代表優先でつながるようになっています。

### 4年生合同音楽会

6年ぶりの合同音楽会が、枚方市総合文化芸術センターで開催されました。本校からは、4年生が「ARUKI☆DASOU」「小さな勇気」2曲の合唱を披露しました。

学校から会場まで35分の道のりを徒歩で移動しました。かなり蒸し暑くダレてしまうかと思いきや、とてもマナーよく歩くことができました。会場は大きなステージと客席で、さすがに子ども達も緊張していたようです。しかし、道中のマナーのよさが歌声に表れたようなきれいな声の素晴らしい合唱でした。約1か月半の練習、本当によく頑張りました。子ども達にとっても、よい経験になったと思います。

### 教員を目指す大学生来校

6月30日、関西外国語大学の学生（8人）が来校しました。全員、小学校教員免許取得予定の学生です。教員不足に泣かされている教育現場からすると、まさしく金の卵です。

大学の先生からも「教師の仕事が楽しいものだと言われてもらえたら有難い」と・・・確かにやりがいがあり、楽しい仕事です？・・・でした？・・・いやいや、「です」。

先生たちの仕事の実際を見てもらうか、それとも楽しそうにしているところを切り取って見てもらうか、葛藤しながら切り取ってしまいました。

「仕事はなあ、辛くて苦しくて辞めたいなあと思いつつも我慢して頑張ってた、たま～～に嬉しいことがある。そんなもんなんや！しんどくてもぜったい辞めるなよ」

高校3年生を担任していたとき、中には住所すら満足に書けない者もいる、そんな生徒たちを何が何でも就職させなくてはならないと思っていました。履歴書の添削と言いつつ就職希望二十数名の志望動機を一人で作文しました。その原稿を渡すとき、そのときだけは感謝している生徒に必ず付け足していた言葉です。

そこまでして各企業へ送り出した生徒たち、感謝の気持ちをもって頑張ってくれるかと思いきや、そうはいきません。卒業後の4月になると就職先の企業から連絡が入ります。「入社式以来、一度も出勤していません。お母さんから毎朝お休みの電話がかかってくる」「お父さんから厳しすぎるとお怒りの電話があり退職されました」びっくりされるでしょうが実話です。

今を何とかしようと甘やかせてしまうと、何歳になっても甘やかさないと不都合が生じます。甘やかされて育った人間は、急に大人だからと突き放されても困ってしまいます。辛いことに対応する能力も忍耐力も身につけていないのですから。

なにより甘やかせてきた方が、引き時の分からない状態に陥ってしまいます。

あの時、志望動機を先生が作文してしまっただけで、40歳半ばになっている教え子たち、まだ甘えてるのかな？